



令和3年度 第5回企画展

広重と富士山

同時開催：信仰の山 富士

2022年1月25日(火)～4月3日(日)

Part1 1月25日(火)～2月27日(日)

Part2 3月1日(火)～4月3日(日)

主催：静岡市

静岡市東海道広重美術館（指定管理者 特定非営利活動法人ヘキサプロジェクト）

協力：静岡県富士山世界遺産センター 富士山かぐや姫ミュージアム

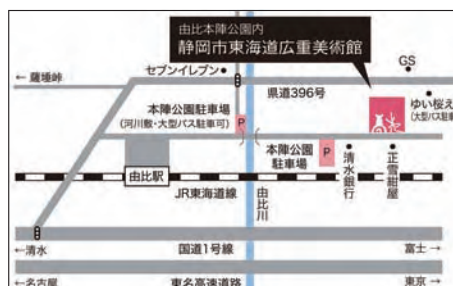
展覧会概要

信仰の対象として、また芸術の対象として古くから日本人に親しまれてきた富士山。2013年には『富士山－信仰の対象と芸術の源泉』として世界文化遺産に認定されました。本展では芸術と信仰の二つのテーマで富士山を紹介します。大展示室では名所絵師として名を馳せた歌川広重が、その画業の晩年に手掛けた富士山をテーマにした二つのシリーズ作品『富士三十六景』と『不二三十六景』を中心に広重の描く浮世絵に描かれた富士山を紹介。小展示室では江戸時代の中頃から庶民の間に広がった富士講ブームを富士登拝のための登山道を描いた絵地図を中心に、芸術と信仰の両面から見る富士山を紹介します。

開館時間 午前9時～午後5時（入館は閉館の30分前まで）
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）

入館料 一般520円（410円）
大学生・高校生310円（250円）
中学生・小学生130円（100円）
※静岡市在住または通学している中学生以下及び、
静岡市在住の70才以上の方は無料
※身体障害者手帳等をご持参の方及び介助者は無料
※（ ）は20名以上の団体料金

アクセス **〈電車をご利用の場合〉**
JR東海道本線「由比」駅下車後 徒歩25分、タクシー5分
〈お車をご利用の場合〉
東名高速清水ICから国道1号経由約20分
●美術館駐車場 21台（由比本陣公園 無料駐車場）



静岡市東海道広重美術館
SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

大展示室 広重と富士山

北斎の『富嶽三十六景』の刊行から20年以上が経過し、名所絵師としての地位も確たるものにした広重がついに富士に挑んだ連作。本展では嘉永四～五年(1851～1852)頃に刊行された中判横の『不二三十六景』と広重の没年である安政五年(1858)に描かれ、翌六年に目録を加え刊行された大判縦の『富士三十六景』をそれぞれの会期で紹介します。

奇抜な構図とダイナミックな画風で評価される北斎に対し、抒情豊かな広重独自の画風と芸術性で評価される広重の富士山。広重がその晩年に満を持して手掛けたふたつの「富士三十六景」をお楽しみください。

Part1 『不二三十六景』

不二三十六景は広重が描いた最初の富士三十六景シリーズで、嘉永五年(1852)頃に版元佐野屋喜兵衛から刊行されました。大きさは横中判で『富士三十六景』のちょうど半分です。広重の横絵作品には珍しく「東都両國橋下」や「駿河田子の浦」において「近像型構図」が用いられ、晩年の画風変遷を辿る上で重要な作品です。



[Part1展示作品] 歌川広重『不二三十六景 東都江戸橋日本橋』当館蔵



[Part1展示作品] 歌川広重『不二三十六景 武蔵小金井堤』当館蔵

Part2 『富士三十六景』

富士三十六景は縦大判の錦絵で、広重が没する安政五年(1858)に版下絵が制作され、翌年に版元蔦屋吉蔵から出版されました。縦長の画面を生かすために俯瞰図法を用い奥行を広く取って遠近感を出したり、近景のモチーフを拡大して描く「近像型構図」を用いた画面構成が斬新な作品です。



[Part2展示作品] 歌川広重『富士三十六景 駿河薩々之海上』当館蔵



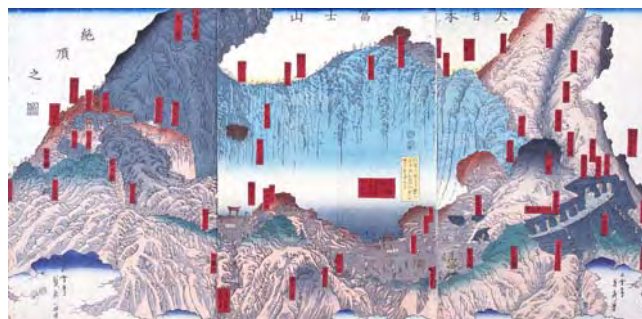
[Part2展示作品] 歌川広重『富士三十六景 駿河三保の松原』当館蔵

小展示室 信仰の山 富士

富士山はこの世にふたつとない山だから、不二山とも呼ばれ、古代から独立したその高く美しい山容と噴火を繰り返す恐ろしさから神の宿る山として信仰されてきました。古代は遠くから眺めて拝む『遥拝』の山であった富士山ですが、噴火活動が沈静化する平安後期以降からは次第に御神徳を拝しながら登山する『登拝』へと変化していきます。十八世紀後半には団体を組織して富士山に登る富士講が一般の人々にも広まり、やがて「江戸は広くて八百八町、講は多くて八百八講」と謳われるまでに興隆した富士登拝。本展では、登拝をテーマに信仰の山 富士を紹介します。



[Part1展示作品] 『富士山禪定図』富士山かくや姫ミュージアム蔵



[Part2展示作品] 『大日本富士山絶頂之圖』富士山かくや姫ミュージアム蔵

※掲載の展示内容及び出展作品は都合により変更となる場合がございます。

関連企画：当館学芸員によるギャラリートーク

- 日 時：2022年2月6日(日)、3月13日(日) 13:00～13:30
- 参加費：無料 ※入館料別途

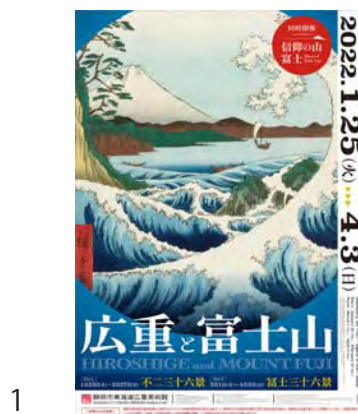
- ・感染症対策のため、定員を10名とさせていただきます。
- ・定員を超えた場合、回数を分けての開催となります。
- ・ミュージアムショップにて整理券をお受けいただき、開催時間になりましたらエントランスホールにお集まり下さい。

※状況によりイベントが変更になる場合がございます。詳細は美術館ホームページをご確認ください。

PRESS RELEASE

広報用画像提供のご案内

展覧会広報用として下6点のデジタルデータをご用意しております。
ご希望の場合はメールまたはファックスにてお申込みください。



1



2



3



4



5



6

■作品およびクレジット

1. 展覧会ポスターイメージ …… © Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art
2. 歌川広重 …… 『不二三十六景 東都江戸橋日本橋』当館蔵
3. 歌川広重 …… 『不二三十六景 武蔵小金井堤』当館蔵
4. 歌川広重 …… 『富士三十六景 駿河薩夕之海上』当館蔵
5. 歌川広重 …… 『富士三十六景 駿河三保之松原』当館蔵
6. 歌川広重 …… 『東海道五十三對 江尻 三保の浦羽衣松の由来』当館蔵

〈使用条件〉

- ※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- ※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等をご遠慮ください。
- ※各画像のキャプション及びクレジットを明記の上、ご使用ください。
- ※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。
- ※弊館での広報実績資料とさせていただくため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

広重と富士山

同時開催：信仰の山 富士

広報用画像データ申込書

静岡市東海道広重美術館 広報担当 行

FAX.054-375-5321 E-mail: info@tokaido-hiroshige.jp

■ご希望の作品番号にチェックをつけてください

1. 展覧会ポスターイメージ © Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art
2. 歌川広重 『不二三十六景 東都江戸橋日本橋』当館蔵
3. 歌川広重 『不二三十六景 武蔵小金井堤』当館蔵
4. 歌川広重 『富士三十六景 駿河薩夕之海上』当館蔵
5. 歌川広重 『富士三十六景 駿河三保之松原』当館蔵
6. 歌川広重 『東海道五十三對 江尻 三保の浦羽衣松の由来』当館蔵

貴社名：

媒体名：

ご担当者名：

TEL：

FAX：

E-mail：

画像到着希望日： 月 日

掲載予定日(コーナー名)： 月 日

〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展できませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像トリミングや別の画像との合成、文字乗せ等は遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを明記の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただきます。後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

本美術館及び展覧会、イベント等をご紹介いただく際は、連絡をお願いします。

TEL.054-375-4454 / FAX.054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp